

※漢字については「読み」の答えが「書き」、「書き」の答えが「読み」になっています。

国語 四一 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番	とり組んだ日 月	日
------------------	-------------	----	---	---	---	-------------	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □ あい
じょうを □ うけ
て □ そだつ

② □ いっしゅうかん
たてる ○
□ いない
にキャンプの □ けいかく
を

③ □ えひめけん
の □ めいしよ
を □ あんない
する。

④ □ なわ
とびの □ たいかい
で □ いちい
になった。

⑤ □ さんすう
で □ くらいどり
の □ べんきよう
をした。

国ご	第四がく年の漢字（書き）		名前	年	組	番	取り組んだ日
四一二							月
（書き）							日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □ がつきゅうしんぶん を □ いんさつ □ して □ せいと に

② □ はたけ □ にかこまれた □ あかい □ やね □ の □ いえ が

□ めじるし □ です。

③ □ えいよう □ の バランス に □ ちゅうい □ して □ りようり

□ を □ つくる □ 。

④ □ むかし □ 、 □ さかえ □ ていた □ みなと □ の □ しゅうへん □ を

□ さんぽ □ する。

⑤ □ えいご □ の □ ちから □ を □ やしなう □ 。

国語 四―三 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□は □をこえている。

② □を□すこし□。

③ スポーツ□に□さんか□する。

④ □とちぎけんさん□の□くだもの□を□ひやつかてん□で

□かう○

⑤ はん□の□やくめ□を□はたす○

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

ほうかご

しあい

けつ
か

かへ

①

に

の

を

あさがお

め

でる

②

の

が

○

だいず

はつが

③

が
い
つ
せ
い
に

した。

じどうしゃこうじょう

き
か
い

おおきな

④

の

が

おと

だす

を

○

ひ

がい

⑤

ごろからさい

にそなえておく。

国語 四一五 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
おく
送りがなにも気をつけましよう。

①
□ かいりよう
した □ ひこうき
が □ とび
□ たつ
。

②
□ しよくぶつ
の □ かんさつ
を □ あらため
てやり □ なおす
。

③
□ じゅうぶん
にねたので、 □ からだ
の □ ちょうし
が □ よい
。

④
しろう □ らい
は、けい □ さつかん
になりたい。

⑤
□ めれ
を □ み
で □ ほうぼく
されている □ ひつじ
の

⑥
□ とくばいひん
に □ おおく
の □ きやく
が □ むら
がる。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① しょうてんがい までの いきかた を おぼえる。

② まちかど の お みせ に せかい かつこく の
ちようみりよう が うら れている。

③ さむざむ で ゆびさき の かんかく が ない。

④ ねん ど の さくひん を かんせい させる。

⑤ めざましどけい が なる。

国語 四一七 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ロケットの□はっ
しやに
せいこう
する。

② しけんかん
をあらう。

③ あらた
な
こころみ
にむねがおどる。

④ こうざく
にストローのような
くだ
をつかう。

⑤ なせば
なる
なさねば
なら
ぬ
なにごと
も。

⑥ とくしまけん
に
むかう
ふね
に
のる。

国語 四一八 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	名前	ねん	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① せんそう が なく なることを ねがう。

② しあい で たたかう あいて のことを ねんいり
に しらべる。

③ あらそい を のぞむ ひと はいない。

④ りようをなき は ふくいけん を きぼう します。

⑤ ながねん の ひがん を はたす。

国語 四一九 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① なかま きょうりよく を もとめる 。

② しあい に やぶれ 、 たいかい れん ぱを たつせい

するゆめが、はかなく ちつ た。

③ さんぽちゅう に ともだち を みかけ た。

④ はいしや ふつ かつせん を かし あがる 。

⑤ えき に きゅうじん のポスターがはってあった。

国語 四—十 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① この□あたりは□じょうかまちだつた。

② □せんしゅが□けんこうなのは□しよくじのおかげだ。

③ □ながさきけんうみべで、□けしきのきれいな□ばしよえらび、□いえを□たてる。

④ この□へんには□けんせつ□ちゆうの□たてものが□おおい。

⑤ □みやぎけんしらべる□にあつた□ふるい□しろについて

国語 四十一 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① わき □ で た □ しみず が、 □ しずか に □ ながれる。

② □ せい けつなガーゼをたなに □ つむ。

③ □ せいでんき が □ はつせい する。

④ □ えん の □ めんせき を □ もとめる。

⑤ □ きよらか な □ ところ の □ もちぬし。

国語 四十二 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	くみ	番
取りくんだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □のおの□の□をほごする。

② これは□の□せんで、とても□。

③ □があるので□はできない。

④ □が□つける□、□で□を

する。

⑤ □に□に□た。

⑥ この□には□が□。

国語 四十三 (書き)	第四がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □
にある
で

② ノートに □
せんを

③ □
の □
をならべる。

④ かれは □
でも □
ている。

⑤ □
はみんなから □
らいされている。

⑥ □
が □
づき、 □
の □
の □
がただ

よう。

国語 四十四 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□を□。

② アフリカ□を□だんする。

③ □がくつのひもを□。

④ □て□を□する。

⑤ □の□を□□たい。

国語 四十五 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ノートに□センチメートルの□
をかく。

② □、□を□ている。

③ バスが□して□も□て
いった。

④ □
□で□。

⑤ □では、オーロラを□こと
ができる。

国語 四十六 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□は、□で□を
つく　　こんど　　しゅくじつ　　かぞく　　りょうり

② □が□て□ちゃんのたん□を
　　い　　しんるい　　あつま　　あか　　じょう　　いわう　　を　　。

③ □の□を□にかざる。
　　きせつ　　はな　　へや

④ □の□に、□がふった。
　　ふゆやすみ　　しよにち　　はつゆき

⑤ □この□の□を□のは
　　はじめ　　たぐい　　しょうひん　　つかう

□だ。

国語 四十七 (かき)	第四学年の漢字 (かき)	名前	年	組	ばん
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① いばらきけん つくら で れた を 。

② ただしい こと は、 ゆうぎ を も っ て

じつごう しょう。

③ テレビで の の

こうしん を みる 。

けいごうきゆうぎゆうで いちまてい

④ たいいく で じゅんばん に そくてん の れんしゅう をする。

⑤ みぎがわ の たな に きようかしよ をしまう。

国語 四十八 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① が なった。

② をもらう。

③ になるという に
て、 する。

④ をおしんで に 。

⑤ みんなで して させる。

国語 四十九 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名まえ	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① こんなかん□な□をとくのは
あさめしまえだ。

② □のしたくを□に□。

③ ここは、□で□の□
に□だ□です。

④ お□に□をたく。

⑤ □が□に□。

国語 四―二十 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □の□のごみを□。

② □あつが□づき□がある。

③ □から□が□。

④ □は□のもと。

⑤ □はすっかり□を□た。

⑥ □を□。

国語 四―二十一 (書き)	第四学ねんの漢字(書き)	名前 ねん 組 番	取り組んだ日 がつ 日
---------------------	--------------	--------------------------------	-------------------

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□は、□が□だ。

② □ろくさい □みまん □は □にゅうじょう □むりよう □です。

③ □ねんまつ □あう □ことを □やくそく □した。

④ □はなたば □かう □にはお □かね □が □ふそく □して

いた。

⑤ □つき □が □みち □てくる。

国語 四十二 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	名前	ねん	組	番
取り組んだひ 月 ち					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□は、□の□を
□のことし
まいにち
することだ。

② □を□てレジに□。
でんびよう
もつ
いく

③ □なことを□。
じゅうよう
つたえる

④ おうぎの□の□。
かなめ
ぶぶん

⑤ □た□に、つくえを□。
きまつ
いち
おく

こく語 四―二十三 (書き)	第四がく年の漢字 (書き)	名前 年 組 番
----------------------	---------------	-------------

つぎ ぶん
次の文の□に当てはまる漢字かんじを書きか
ましよう。送りおく
りがなにもきをつけましよう。

① あか
□ ちゃんが わらっ
□ たり ない
□ たりする。

② かいすいよく
□ をしたので、シャワーを

あび
□ た。

③ ほうほう
あらゆる □ ち
□ りようを こころみる
□ 。

④ こくみん
□ のためのせい □ じ
□ 。

⑤ く
□ を おさめる
□ リーダー。

⑥ いがく
□ の しんぽ
□ によつて なおる
□ が びようき

ふえる。

国語 四―二十四 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□を□て、□で□。

② □の□なカレーを□。

③ □のために□を□。

④ □のいわしを□で□。

⑤ □の□では、けんび□で

□するの□ではなかった。

国語 四―二十五 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	名前 ねん 組 番
---------------------	---------------	--------------------------------

次の文の□にあてはまる漢字を書きましょう。
おくりがなにも気をつけましょう。

① ここでは しんぶん を いんさつ しています。

② パソコンを りよう して ねんが じょうを

する。

③ たとえば、 とつとりけん に りよう するとし

よう。

④ そうべつかい で ともだち と わかれ をおしむ。

⑤ ボールを まと に あてる を、
 ぐたいてき な れい を あげ て せつめい する。

国語 四―二十六 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① 「おもちゃの□の□をピア
ノでひく。

② □まで□が□。
□

③ □をして、□を□かんする。
□

④ □ゴムを□で□。
□

⑤ □どもを□て□に□。
□

国語 四一二十七 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □の □ た □ は □ できざみ、チャ
ーハンの □ にした。

② □ なのはな
はさいていたが、 □ なこ
とに、さくらは □ てしまっていた。

③ □ うみ
の □ あさい
□ ところ
で □ あそぶ
。

④ □ いるい
をふろしきに □ つつむ
。

⑤ □ としお
にくらべ、 □ ぐんぶ
は □ しぜん
が ゆたかだ。

こくご 四―二十八 (かき)	第四学年の漢字 (かき)	な前 年 組 番
----------------------	--------------	-------------

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ことば の いみ を しらべる ときには

こくごじてん が べんり だ。

② たすけ てくれたお を せん に かく。

③ この あたり は しぜん が ほう ふ だ。

④ とやまけん に すむ なかま から たより が

とどく。

⑤ しずおかけん は、お ちや の さんち として

ゆうめい だ。

⑥ いちだい で、 ばく だい な とみ をきずく。

⑤

おう

が

けらい

に

めいれい

する。

国語 四―三十 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① さめ あたためる
たスーを。

② れい からだ ひえ
ぼうがききすぎて が た。

③ つめたい のみもの ちゅうもん
を する。

④ かいぎ さんか
に する。

⑤ にいがたけん でんしゃ まいり
まで で ます。

国語 四―三十一 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □に□し、□あうなかで

□せいちようする。

② □ふたつ□ぎに□きようつうすることを

□かんがえる。

③ □くんれん□かんせつ□うごきを

□よく□する。

④ □けいばじよう□ちかく□こうえん□がある。

⑤ □かつお□ぶし□をかける。

⑥ □はちおうじし□むかし□こぼとけ□せきしよ□があつた。

国語 四―三十二 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① オリンピックで□をつとめる。

② □らん□で□をふっておうえんする。

③ □たすばらしい□が□も
□に□ている。

④ □じられない□に□をうたがう。

⑤ □のプロ□の□を
□。

国語 四―三十三 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

つぎ ぶん 次 文 の □ に あて は まる かんじ 漢字 を 書 か ま し ょ う 。
おく 送り が な に も き を つ け ま し ょ う 。

① □ おりがみ
で つ る を □ つくる。

② □ しょうちくばい
の □ さんしゅるい
の お べ ん □ とう
を □ かう。

③ □ まつ
と □ うめ
の □ き
の え だ を □ きる。

④ □ はたけ
に □ だいこん
の □ たね
を ま く 。

⑤ □ かど
そ こ の □ を □ うせつ
し て く だ さ い 。

⑥ □ しきおりおり
の □ はな
を か ざ る 。

国語 四―三十四 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	な前	ねん	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □を□。

② 鎌□には、□の□□がある。

③ □の□を□する。

④ □□の□を□。

⑤ □の□ことを□じる。

国語 四―三十五 (書き)	第四学年の漢じ(書き)	名前	年	組	番
取り組んだひ 月 にち					

次のぶんの□に当てはまる漢じを書きましよう。送りがなにも氣をつけましよう。

① お□が□た。

② □が□をかくにんする。

③ □の□の□。

④ □の□で□を□。

⑤ □で□に□をゆずった。

⑥ □はだれでも□ていく。

国語 四―三十六 (かき)	第四がく年の漢字 (かき)	なまえ	年	くみ	番
---------------------	---------------	-----	---	----	---

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① しろぐみ たいさ かつ
が で た。

② にしび さす へや
の の 。

③ ふだ じぶん なまえ かく
に の を 。

④ せんえんさつ じゅうおく いっちようえん
が まい で だ。

⑤ がっきゆうかい しかい
で をする。

国語 四―三十七 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① きんぎよ
がたまごを うむ。

② あおもりけん
はりんごの さんちだ。

③ りょうり
で しおの りょうを はかり
まちがえた。

④ じゆ
もんを となえる。

⑤ し
を あんしょう
する。

国語 四―三十八 (書き)	第四がく年の漢字 (書き)	名前	年	くみ	番
とりくんだ日 月 日					

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① せつめい はふい
を たことを ふかく はんせい

する。

② がくげいかい れんしゅう
とり くむ の にみんなで ねっしん
。

③ ぶんしょう しょう
を りやくして、かん たん にする。

④ ひと みち
の を とく。

⑤ ふくおかけん ちち
は の うまれ た ばしよ だ。

国語 四―三十九 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① みんなで□の□を□た。

② ひぎに□をまく。

③ □が、つまに□を□。

④ □が□みを□たにそまる。

⑤ □んぼで□が□ている。

⑥ □の□の□を□。

○

国語 四―四十 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □は □の、 □は □の

□だ。

② □は、 □、 □、 □

□の □となり □ている。

③ □や □、 □など

□をめぐる。

④ □に □に □をした。

⑤ □の □は、 □に □

されている。